

## 第14回「成果の発表(2)」

### 今後のスケジュール

第14回 (2012-07-11)	自分のレポートを作成して、添削を受ける プレゼンテーションの練習をして、その内容を見直す
第15回 (2012-07-18)	完成したレポートを提出する 最終のプレゼンテーションして、内容をお互いに評価する

### プレゼンテーションの作成

#### プレゼンテーションの構成

- レポートは「序論」「本論」「結論」の構成だが、プレゼンテーションは「**序論 + 結論**」「**本論**」「**結論**」になる
  - 「序論 + 結論」では、結論をごく簡単に説明する(最初に結論を説明することで、話がわかりやすくなる)
  - 「本論」では、いくつかの話のまとまりを説明する
  - 「結論」では、本論で説明した内容のまとめと、自分の意見や考察を説明する

#### 【例：6枚のスライドで構成されるプレゼンテーションの場合】

- 1枚目：タイトル用スライド
- 2枚目：序論（はじめに）  
タイトルに関連する背景の説明（事例やデータの紹介と解説）
- 3枚目：序論 + 結論（本レポートの目的）  
問題点の指摘（問題提起）、自分の主張（簡単に説明）
- 4枚目：本論（     について等）  
主張についての説明（理由、事例やデータなどの根拠を示す）  
自分の意見を示す（事例やデータに基づいて）（結論のための理由その1）
- 5枚目：本論（     について等）  
用語や事例の解説、問題点等の解説とそれに対する自分の意見  
反対意見を想定し、それに対する対応を説明（結論のための理由その2）
- 6枚目：結論（まとめ）  
本論で書いた内容のまとめ（各スライドの内容を1行程度）、  
自分の主張をはっきりと説明し、また提案があれば示す

#### スライドの構成と分量

- スライドを作成するときには、**1枚のスライドに1つの内容だけ**説明する
- スライドを説明する時間は、**1枚あたり1分以上**が目安(10分間の発表なら10枚程度)
- 説明する内容が多い場合は、切りのいいところで複数のスライドに分ける
  - 例えば2枚に分けて説明する場合は、タイトルに「(1/2)」や「(2/2)」と書いておく

#### スライドの文字と文章

- 原則として、**フォントはゴシック体**(角ばったフォント)を使用する
- 文字は大きく書く(最低でも、**20ポイント以上の文字サイズ**)
- 文章は、**1行程度に簡潔にまとめる**(細かく書きすぎずにポイントをまとめる)
- 文章には、読点(。)は使わず、「である体」や体言止めを使う

## 口頭発表

### 口頭発表のポイント

1. 構成は、「序論+結論」「本論」「結論」
  - 「序論+結論」では、結論をごく簡単に説明する(先に説明したほうがプレゼンの全体像を理解しやすい)
  - 「本論」では、いくつかの話のまとまりを説明する
  - 「結論」では、本論で説明した内容のまとめと、自分の意見や考察を説明する
2. 特定の人だけに視線を向けなくて、まんべんなく視線を動かす
3. 無駄な動きや腕組み・後ろなどでなく、うまく身振りでも表現をする
4. 1枚のスライドでしゃべる時間は、1分程度
  - 聞き取りやすいようにはっきり話す
  - 早口にならず、ゆっくり目に話したり、適当に間を空けたりする
  - 声に強弱をつけたり、特定の言葉を繰り返して、強調したいところにメリハリをつける

### 発表する側への注意

自分のレポートをもとに、プレゼンテーションをしてもらいます。

- 時間配分:発表5分、質疑応答3分
- 発表に使ったプレゼンテーションの資料は印刷すること(11部印刷)
- 発表に使ったプレゼンテーションのファイルは、提出すること
- 発表と質疑応答が終わったら、チェックシート(発表者用)にチェックすること

### 発表を聞く側への注意

- ひとつの発表につき、最低1つ質問をすること(評価に含める)
- 発表と質疑応答が終わったら、チェックシート(聴き手用)にチェックすること

## プレゼンテーションの提出と口頭発表

添削したレポートを清書をもとに、プレゼンテーションを作成する。

- 提出日:2012年7月18日(水) 授業開始まで(時間厳守)
- **次回の授業で発表をする(持ち時間5分+質疑応答3分)**
  - PowerPointのスライドを作っておくこと
  - 発表練習を事前に十分しておくこと

## 参考文献

- 藤田哲也編著「大学基礎講座 改増版」, 北大路書房(2006.03)
- 南田勝也・矢田部圭介・山下玲子「ゼミで学ぶスタディスキル」, 北樹出版 (2011.04)
- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」, くろしお出版 (2011.03)
- 中澤務・森貴史・本村康哲編「知のナビゲーター」, くろしお出版 (2007.04)
- 石坂春秋「レポート・論文・プレゼン スキルズ」, くろしお出版 (2003.03).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).